Voltamos!

ツナガルマジワル 熊本ブラジルの日 2025

サンバパレード

サンバショー、カポエイラ、
マルシェ、サッカー体験、
楽器作りワークショップ、
紙芝居、ワンポイントメイク

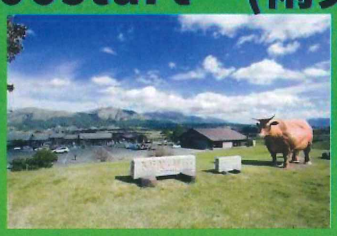
入場無料

食べて飲んで、歌って踊って
もっと熊本とブラジルが好きになる

第8回ツナガルマジワル熊本ブラジルの日

日時　2025年6月14日　10：00start　（雨天時6月15日に延期）

場所　あそ望の郷くぎの



熊本県阿蘇郡南阿蘇村久石2807

共催
ブラジル民族文化研究センター
ツナガルマジワル熊本ブラジルの日実行委員会

@kumamoto_brasil

DMにてお気軽にお問合せ下さい。

@KUMAMOTO_BRASIL

特別寄稿

一介のブラジル研究者に過ぎない私が、この国を研究対象に選び学問の道を歩んだには、
同じ熊本県民でブラジルと深く関わった二人、
つまり一人は、生涯をかけて移民事業に取り組み、塗炭の苦しみに遭遇した日本移民のために粉骨砕身しながら、双方の国の架け橋となり社会発展に尽くした
「移民の父」とみなされている上塚周平。
もう一人は「ブラジルのピカソ」とも言われ、抽象画のジャンルで世界的名声を博した
マナブ・マベ「間部学」の存在があったことは否めない。

ともあれ、今日の南米連邦の親日的な風土は、そうした人や長年に亘る日本移民の努力と信頼によって培われ、勝ち得たものである。日伯の外交関係が樹立されてから130年、
日本サイドのブラジル情報・発信はますます重要であり、その意味において、
「ツナガルマジワル熊本ブラジルの日」団体による文化発信の活動や公演が
果たされている役割は特筆するに値する。

ブラジル民族文化研究センター主幹
田所清克 様

Time table

- 10:00 マルシェStart
- 11:00 開会のあいさつ
- 11:10 いてこいてお
- 11:35 しみずけんた
- 12:00 九州サンバアフロ同盟
- 12:30 紙芝居屋グレッチ
- 13:00 九州カポエイラ
- 13:30 サンバダンサーMasashi ＆ゴーフィーニャス
- 14:00 サンバ熊本

紙芝居はテラスであるよ

Marché

スマイルBBQ　REMY
画図おやじの会　益城プリン
山下いちご農園　Chie's Coffee
グルテンフリーMuito
にがおえ mimic トチコ

司会　風戸 南陽子